

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【浦和大里小学校】

学力向上
アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	試行錯誤・課題意識をもち探究を進める力 協働・多様な意見を尊重し、共に幸せをめざす力
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	教育課程柔軟化サキドリ研究校として、全学年で児童が定期的に自らの学びについて「振り返り→課題設定→計画→実行・改善」するとともに、教職員が適切な支援を行うための裁量的な時間を設ける。【年11回実施】 教職員同士で公開授業を参観し合い指導力を高める。【1人年3回実施】

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	
↓		
今年度の成果と 次年度の課題		

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	国語・算数ともにすべての問題で全国平均・埼玉県平均を上回る正答率であった。「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することが出来ていますか。」という質問への肯定的回答が94.6%であった。	
	↓	
結果から考えられる 児童生徒の実態	多くの児童が6年生段階で求められる知識及び技能、思考力・判断力・表現力等が身に付いている。自分の学び方について調整し、主体的に課題に取り組む力が身に付いてきている。	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	
↓	
結果から考えられる 児童生徒の実態	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③中間評価を経た取組 ④調査結果を活用した授業

③	中間評価	
学力向上策の実施状況	評価(※)	全学年で裁量的な時間を1学期に3時間、2学期はじめに1時間行った。児童自身が自らの学びを調整することができてきた。多くの教職員が公開授業を1回行い、相互参観を行った。2回目の公開授業に向けて課題を明確にすることができた。
	A	
↓		
学力向上策の見直し	変更なし	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

教育研究所